



# BOSHIN DISCLOSURE 2018

## 房 総 信 用 組 合 の 現 況

平成30年度上半期(平成30年9月末現在)経営情報



房総信用組合

ホームページ <http://www.boshin.jp>

本部	茂原市高師町1丁目10番地5	TEL:0475(22)5111	FAX:0475(23)9777	大原支店	いすみ市大原9231番地の3	TEL:0470(62)2225	FAX:0470(63)1807
本店	茂原市高師町1丁目10番地5	TEL:0475(22)6111	FAX:0475(22)6112	白子支店	長生郡白子町五井1708番地の1	TEL:0475(33)3612	FAX:0475(33)3594
本納支店	茂原市本納1773番地	TEL:0475(34)3302	FAX:0475(34)3318	岬東支店	いすみ市岬町椎木1781番地3	TEL:0470(87)3166	FAX:0470(87)5971
一宮支店	長生郡一宮町一宮3089番地	TEL:0475(42)2061	FAX:0475(42)2071	茂原支店	茂原市茂原347番地	TEL:0475(24)3335	FAX:0475(24)3337
長南支店	長生郡長南町長南2474番地の4	TEL:0475(46)1159	FAX:0475(46)1303	鴨川支店	鴨川市横渚283番地の7	TEL:04(7092)1221	FAX:04(7093)1277
夷隅町支店	いすみ市刈谷189番地の1	TEL:0470(86)2150	FAX:0470(86)3689	勝浦支店	勝浦市勝浦28番地の1	TEL:0470(73)0025	FAX:0470(73)0099
町保支店	茂原市町保42番地の22	TEL:0475(24)2321	FAX:0475(25)4800	御宿支店	夷隅郡御宿町須賀450番地の6	TEL:0470(68)2731	FAX:0470(68)2115
岬支店	いすみ市岬町長者183番地の1	TEL:0470(87)2214	FAX:0470(87)7696				

## ごあいさつ

皆様には、平素より房総信用組合に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

本年も、平成30年度上半期の事業内容を収めましたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、房総信用組合へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

今後とも、皆様方のご期待に応えられるよう役職員一丸となって業務に邁進して参りますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 三谷 徹



## 経営理念

房総信用組合は、お客様の繁栄と地域社会の発展に貢献します。

## 経営方針

- ・お客様の立場で考え行動します。
- ・健全で堅実な経営に徹します。
- ・明るく活力ある組織を確立します。

## 房総信用組合の概要

設立	昭和26年6月
出資金	1,131百万円
組合員数	29,495人
店舗数	14店舗
職員数	145人（平成30年9月30日現在）

## 経営情報

平成30年度上半期(平成30年4月1日～平成30年9月30日)における経営情報をお知らせいたします。

## 貸借対照表

(単位:百万円)

【資産の部】	平成29年9月末	平成30年9月末	【負債の部】	平成29年9月末	平成30年9月末
現金	955	1,078	預金積金	125,334	126,399
預け金	56,670	52,746	その他負債	409	394
有価証券	19,285	22,245	賞与引当金	52	51
貸出金	53,078	55,114	役員退職慰労引当金	150	164
その他資産	525	502	偶発損失引当金	11	10
有形固定資産	1,392	1,363	睡眠預金払戻引当金	3	3
無形固定資産	7	10	営繕費用引当金	-	6
繰延税金資産	151	143	再評価に係る繰延税金負債	67	67
債務保証見返	63	17	債務保証	63	17
貸倒引当金	△ 1,324	△ 1,343	負債の部合計	126,093	127,115
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,269)	(△ 1,303)	【純資産の部】		
			出資金	1,131	1,131
			利益剰余金	3,160	3,221
			組合員勘定計	4,292	4,353
			その他有価証券評価差額金	256	245
			土地再評価差額金	164	164
			評価・換算差額等合計	420	409
			純資産の部合計	4,712	4,762
資産の部合計	130,806	131,878	負債及び純資産の部合計	130,806	131,878

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成29年9月末	平成30年9月末	科目	平成29年9月末	平成30年9月末
経常収益	734	746	経常利益	8	20
資金運用収益	653	657	特別損失	0	0
(うち貸出金利息)	518	517	税引前当期純利益	8	20
役務取引等収益	41	52	法人税・住民税及び事業税	7	7
その他業務収益	0	2	当期純利益	1	13
その他経常収益	28	34	前期繰越金	275	316
経常費用	725	725	当期末処分剰余金	276	329
資金調達費用	12	11			
(うち預金利息)	10	8			
役務取引等費用	74	62			
経費	637	636			
その他経常費用	1	14			

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。  
表示における「0」は表示単位未満の残高があることを表しています。

## 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位: 百万円、%)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成30年3月	1,340	1,179	160	1,340	100.00	100.00
	平成30年9月	1,330	1,169	160	1,330	100.00	100.00
危険債権	平成30年3月	3,370	1,576	1,142	2,719	80.69	63.71
	平成30年9月	3,419	1,576	1,142	2,719	79.54	62.03
要管理債権	平成30年3月	296	120	18	139	46.93	10.50
	平成30年9月	279	120	15	135	48.71	9.66
不良債権計	平成30年3月	5,007	2,877	1,321	4,199	83.86	62.05
	平成30年9月	5,028	2,867	1,318	4,185	83.24	61.01
正常債権	平成30年3月	48,707					
	平成30年9月	50,148					
合計	平成30年3月	53,715					
	平成30年9月	55,177					

※各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。  
(以下 同)

(注)平成30年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成30年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

### <平成30年9月末の算出方法>

- 債務者区分については原則として平成30年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事由ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
- 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計です。

## 単体自己資本比率

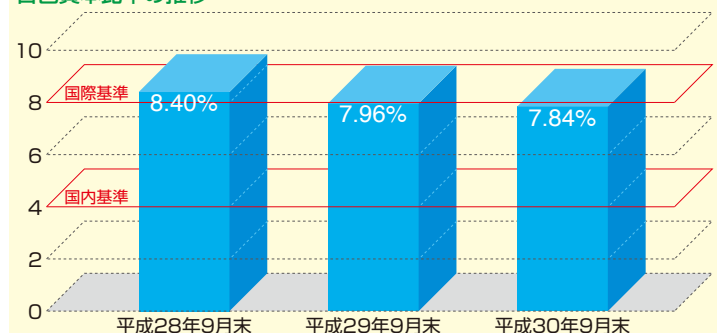
(単位: %)

	平成29年9月末	平成30年9月末
単体自己資本比率	7.96	7.84

### 自己資本比率の見方

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産に対して、資本金や引当金等の自己資本の占める割合を表しています。この比率が高いほど、自己資本が豊富にあり経営基盤がしっかりしていると言えます。国内でのみ営業を行う金融機関に対しては4%、国際業務を営む金融機関に対しては8%という基準が定められています。当組合の自己資本比率は7.84%と国内基準を大きく上回っています。

### 自己資本比率の推移



## 自己資本の構成に関する事項

(単位: 百万円)

項目	平成29年9月期	平成30年9月期
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	4,292	4,353
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,131	1,131
うち、利益剰余金の額	3,160	3,221
うち、外部流出予定額(△)	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	54	40
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	54	40
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	73	62
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 4,420	4,456
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 3	6
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 4,417	4,450
信用リスク・アセットの額の合計額	52,305	53,953
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,137	2,749
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ) 55,443	56,703
自己資本比率	((ハ)/(ニ)) 7.96%	7.84%

(注)平成26年度より新告示に基づく開示を行っております。

なお、当組合は国内基準を採用しております。

平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)地域密着型金融推進計画

1.取組方針

当組合は、地域経済の発展、組合員の事業の反映、豊かな家庭生活のお手伝い、という組合の基本的な目標を前提として、地域に根ざした密度の濃いコミュニケーションをベースに、お客様の立場に立った金融機能の発揮を目指します。

2.取組項目

(1)お取引先企業等に対するコンサルティング機能の発揮

- ①.日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析
- ②.最適なソリューションの提案

(2)地域の面的再生への積極的な参画

(3)地域や利用者に対する情報発信

3.具体的な取組策

取組項目	担当部署	平成30年度の取組計画	平成30年上期(30年4月～9月末)の取組み結果
<b>(1)お取引先企業等に対するコンサルティング機能の発揮</b>			
お取引先企業との日常的・継続的な面談等により、経営の悩み等を率直に相談できる信頼関係を構築し、経営の目標や課題等を把握・分析し、ライフステージに応じた課題の解決支援に取組みます。 特に、経営改善、事業再生等の支援が必要なお取引先企業に対しては、①経営改善(再建)計画の策定支援、②新規の信用供与、事業再生支援に関する主体的関与をすることとします。	融資部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者のライフステージに応じた課題解決に当たり、事前に決算書分析や不良資産等を確認後、訪問面談を主体として債務者とのヒアリングを実施し、経営者が認識している経営上の課題：問題点や、強み・弱み、今後の成長が期待できる事業等の意見交換を行い、経営者との経営目標や課題を共有し、進捗状況の管理やソリューション提案のため、事業性評価シートに整理し継続的な管理に取組みます。(経営支援課)</li> <li>・当組合の職員だけではソリューション提案が難しい経営課題については、よろず支援拠点サテライト相談所、中小企業診断士及び公的支援機関等外部機関等と連携し課題解決に取組みます。(経営支援課)</li> <li>・当組合以外にも他の金融機関との取引があり、金融調整が必要な場合は、経営改善支援センター、再生支援協議会及び信用保証協会等の利用を促し、金融調整円滑化に取組みます。(経営支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者のライフステージに応じた課題解決を目的として、経営者と経営目標や課題を共有し、進捗状況やソリューション提案の多い先10先に変更後、営業店は少なくとも毎月1回以上の訪問を徹底し、債務者の経営改善の進捗状況や、当組合取組方針の進捗状況のモニタリングを行った後、毎月10日までに本部担当部署に報告後、担当部署は改善状況の把握に努めております。</li> <li>・事業者のライフステージに応じた課題の解決支援に取組みます。特に、経営改善、事業再生等の支援が必要なお取引先企業に対しては、①経営改善(再建)計画の策定支援、②新規の信用供与、事業再生支援に関する主体的関与をすることとします。</li> </ul>
①.日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析 お取引先企業のライフステージの見極めと、ライフステージに応じた目標や課題の把握・分析	融資部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当組合の大口と信先20先や未保全額が多い先につきましても、当組合の取組方針を明確にしたうえで、毎月一回以上の訪問を徹底し、当組合の取組方針や債務者の経営改善の進捗状況を把握するために、チェック表を策定し進捗状況の把握に努めます。その上で進捗状況に問題等がある場合には、要因を把握し改善策等のアドバイス等を行えるような仕組みを構築し、担当部署が一元管理できる仕組みを構築したうえで、管理を継続いたします。(債権管理課)</li> <li>・経営改善計画書策定先については、事業所の決算期ごとに経営改善計画と実績の比較・検討を行います。達成状況が思わしくない項目等については、その要因や改善策の妥当性を債務者とともに再検討を行い、その後の計画達成率の状況をモニタリングすることにより、計画が達成できるようアドバイスに努めます。(経営支援課)</li> <li>・平成29年度から千葉県中小企業診断士協会との業務委託により、当組合の経営に与える影響の大きい取引先や営業店からの支援要請に対し、中小企業診断士を交え取引先事業者の経営改善計画書の策定支援や各種経営課題の解決に取組みます。また、ソリューションの質を向上させることを目的とし、職員の事業性評価能力向上を図るための集合研修を年3回実施予定です。(経営支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当組合の大口と信先や未保全額が多い先の管理につきましては、対象先の変更を行い、大口と信先144先、未保全額の多い先10先に変更後、営業店は少なくとも毎月1回以上の訪問を徹底し、債務者の経営改善の進捗状況や、当組合取組方針の進捗状況のモニタリングを行った後、毎月10日までに本部担当部署に報告後、担当部署は改善状況の把握に努めております。</li> <li>・平成30年度条件変更先のモニタリング対象先157先に対し、営業店は業況把握のため毎月モニタリングを実施しております。そのなかで、経営改善計画書策定先については、事業所の決算期ごとに経営改善計画書と実績の比較・検討を実施しています。又達成状況が思わしくない項目について、原因分析を行い、その後の計画達成に向けてアドバイスを実施しています。また、四半期毎に本部に報告後、担当部署は改善状況の把握に努めています。</li> <li>・支援先(専門家対応先)として、25事業者に対し、それぞれの課題解決に向けて取組んでいます。職員の事業性評価能力向上の為に第1回研修を8月に実施し、営業店から17名の参加がありました。参加者は各自の取引先事業者に対し事業性評価シートを9月までに策定しました。</li> </ul>
②.最適なソリューションの提案 ライフステージに応じた目標の実現や課題解決に向けたコンサルティング機能の発揮 外部専門家・外部機関との連携による支援 国や地方公共団体の中小企業支援施策を活用した支援	融資部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善支援、再生支援及び事業承継が必要な事業所に対して、ミラサボを活用した専門家派遣支援や再生支援協議会及び事業引継ぎ支援センター等の公的外部支援機関と連携による支援に取組みます。(経営支援課)</li> <li>・中小企業者、小規模事業者の支援のため、千葉県信用保証協会、日本政策金融公庫及び千葉県農業信用基金協会との連携による創業時や各種ライフステージに応じた金融支援に取組みます。(経営支援課)</li> <li>・国、県、市町村の各種補助金等の有効活用を促し、経営改善や業務効率化の支援に取組みます。(経営支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当組合取組先に対する千葉県信用保証協会との支援について、候補選定を致しましたが、具体的な支援活動については下期の予定です。又平成28年4月以降に創業し、保証協会付き融資先に対して、アフターフォローと交流を目的としたセミナー及び交流会を千葉県信用保証協会主催で第3四半期に実施予定であり、詳細決定後対象者に対し参加要請致します。</li> <li>・ものづくり補助金は、第一次募集に3企業の申請手続きのため専門家を紹介しました。(内、1企業が採択) 又第二次募集に2企業の申請手続きのため専門家を紹介しました。内、1企業は納期が間に合わないため次年度に申請予定。(採択結果は11月上旬の予定)</li> <li>・事業承継補助金は、1企業の申請手続きを支援し採択されました。</li> <li>・持続化補助金は、1企業の申請手続きを支援し採択されました。</li> </ul>
<b>(2)地域の面的再生への積極的な参画</b>			
当組合が貢献可能な分野や役割に対し、地方公共団体や地域経済団体等と連携して地域活性化のための取組みに参画します。 地方公共団体との関係強化による地域活性化対策への参画、協力 地域の経済団体や中小企業関係団体等との関係強化による地域活性化対策への参画、協力	融資部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県クラウドファンディング活用検討会議に地元金融機関として参加し、地域産業資源の活性化のため、普及・促進に協力致します。(経営支援課)</li> <li>・中小企業者、小規模事業者の本業支援のため千葉県産業振興センター主催のよろず支援拠点ステップアップセミナーの開催に際しては、開催場所の地方公共団体等とも協力し、当組合取組先をはじめ地域内の対象者に対し広く案内し活用するための参加者募集に取組みます。(経営支援課)</li> <li>・まち・ひと・しごと地方創生に係る地公体等の施策(定住促進や雇用創出等に資する事項や観光プロモーション活動に資する事項等)に対して協力を検討し、必要に応じ促進活動に協力致します。(経営支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県クラウドファンディング活用検討会議に参加し、地域産業支援の活性化のため、普及・促進に努めました。</li> <li>・千葉県産業振興センター主催のステップアップセミナーについては上期、当組合エリア内での開催がありませんでした。</li> <li>・茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議に出席し、平成29年度事業に係る検証を実施しました。</li> </ul>
<b>(3)地域や利用者に対する情報発信</b>			
当組合の地域密着型金融の取組みについて、地域やお取引先等へ情報を発信することにより、理解を深めて信頼を確立します。 地域密着型金融の取組みに関する情報のディスクロージャーでの公開 地域密着型金融の取組みに関する情報のホームページでの公開	経営管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型金融の取組みに関する計画および取組実績をディスクロージャーで開示する。</li> <li>・地域密着型金融の取組みに関する計画および取組実績をホームページ上で開示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の取組結果について、ディスクロージャー誌「房総信用組合の現況2018」および当組合ホームページに掲載開示しました。</li> <li>・平成30年度の計画について、当組合のホームページに掲載し開示しました。なお、半期ディスクロージャー誌に計画並びに上期の取組状況を掲載して開示する予定です。</li> </ul>

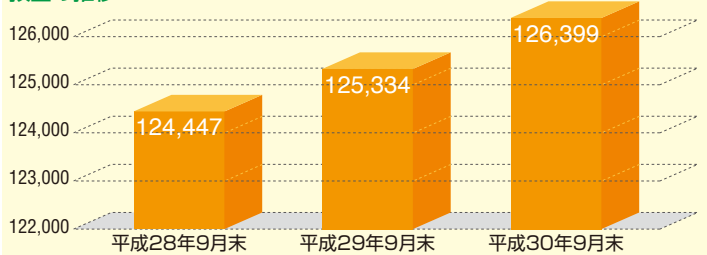
預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

区分	平成29年9月末	平成30年9月末
預金残高	125,334	126,399

中・小口預金を中心とした預金獲得に努め前年同期比、1,065百万円増加しました。

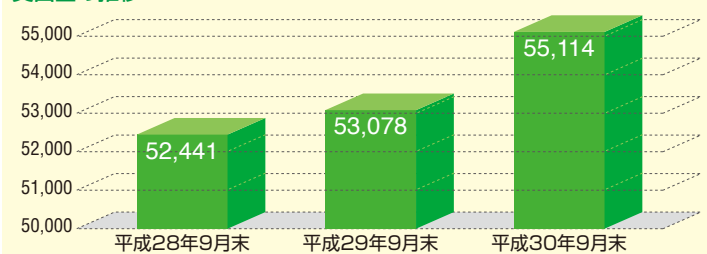
預金の推移



区分	平成29年9月末	平成30年9月末
貸出金残高	53,078	55,114

小口融資を中心に積極的に推進した結果、前年同期比2,036百万円増加しました。

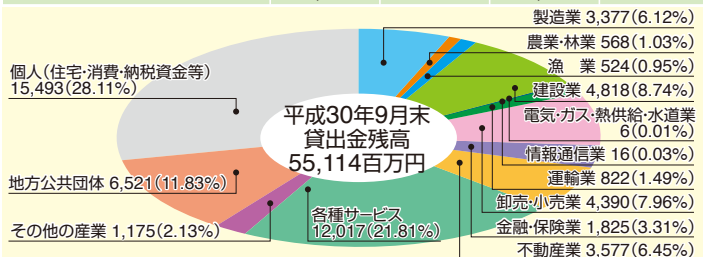
貸出金の推移



貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	平成29年9月末		平成30年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	3,130	5.89	3,377	6.12
農業・林業	602	1.13	568	1.03
漁業	312	0.58	524	0.95
鉱業	—	—	—	—
建設業	5,096	9.60	4,818	8.74
電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.01	6	0.01
情報通信業	20	0.03	16	0.03
運輸業	833	1.56	822	1.49
卸売・小売業	4,267	8.04	4,390	7.96
金融・保険業	1,826	3.44	1,825	3.31
不動産業	3,209	5.89	3,577	6.45
各種サービス	12,631	23.79	12,017	21.81
その他の産業	618	1.16	1,175	2.13
小計	32,474	61.18	33,100	60.05
地方公共団体	5,661	10.66	6,521	11.83
雇用・能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	14,942	28.15	15,493	28.11
合計	53,078	100.00	55,114	100.00



有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成29年9月末					平成30年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額		取得原価	貸借対照表計上額	評価差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
株式	801	866	64	72	7	800	883	82	104	21
債券	16,713	16,945	232	292	60	18,917	19,057	139	229	89
(国債)	5,888	5,992	103	143	39	5,898	5,954	56	105	48
(地方債)	2,600	2,679	78	78	—	2,400	2,468	68	68	—
(社債)	8,224	8,273	49	70	21	10,619	10,633	14	55	41
その他	1,116	1,173	57	107	50	1,888	2,005	116	155	38
合計	18,631	18,985	353	472	118	21,606	21,945	339	488	149

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成29年9月末					平成30年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額		貸借対照表計上額	時価	評価差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
外国証券	300	298	△1	1	3	300	298	△1	0	2
国内債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	300	298	△1	1	3	300	298	△1	0	2

地域貢献に関する情報

1. 地域貢献に関する経営姿勢

当組合は、茂原市から鴨川市までの外房地域一帯を営業地区とし、地域の事業者や住民が組合員となり、お互いに助け合い発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組合組織の金融機関です。

組合員、お客様一人一人の顔が見えるきめ細かな取引を基本としており、常にお客様の事業の繁栄や生活の質の向上に貢献するため、組合員の利益を第一に考えることを活動の基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

2. 預金を通じた地域への貢献

当組合は、組合員をはじめとする地域のお客様の着実な資産づくりを支援するために、目的や期間に応じた各種預金・積金をご用意しております。平成30年9月末現在、1,263億円の預金をお預りしています。

3. 融資を通じた地域への貢献

当組合は、営業地区内で調達した資金(預金)を地区内の事業者や個人のお客様に対して円滑に供給(貸出)することにより、地域経済の活性化に努めることが最大の地域貢献と考え、積極的に融資業務に取り組んでおります。

(1) 貸出先数・金額(平成30年9月末現在)

区分	先数(先)	貸出残高(百万円)	内訳(百万円)	
事業者	1,393	33,100	(設備資金) 15,079	(運転資金) 18,021
個人	3,645	15,493	(住宅資金) 7,927	(消費者ローン) 1,275
地方公共団体	14	6,521		
合計	5,052	55,114		

(次頁へつづく)

## 地域貢献に関する情報

### (2) 地方自治体の制度融資の取扱状況

当組合は、千葉県や茂原市など地区内各市町村の中小企業向け制度融資の取扱窓口指定されており、平成30年3月末現在、1,026件、3,823百万円のご利用を頂いております。

制度の名称	取扱件数(件)	貸出残高(百万円)
千葉県事業振興融資資金	786	3,123
千葉県短期運転資金	79	305
市町村等制度融資	161	394
合計	1,026	3,823

### (3) 当組合の融資商品の概要

当組合では、事業者や個人の資金ニーズにお応えするため、次のような融資商品を取り扱っております。

#### ① 事業者向け融資

種類	概要
証書貸付	主に設備資金などにご利用いただく長期のご融資です。
手形貸付	主に運転資金などにご利用いただく短期のご融資です。
手形割引	一般商業手形の割引です。
当座貸越	一定の貸越極度額まで自由にご利用いただける当座預金の貸越契約です。

#### ② 個人向け融資

種類	資金のお使いみち	ご融資金額(上限)	ご融資期間(最長)	担保・保証
住宅ローン	住宅の新築・増改築・購入	10,000万円	35年	不動産・保証人または保証会社
リフォームローン	リフォーム関連資金	500万円	10年	保証会社
リフォームローン・ワイド	//	1,000万円	15年	保証会社
カーライフローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	1,000万円	10年	保証会社
カーライフローン・レポート	自動車等の購入・車検・免許取得費用(お取引のあるお客様向け)	1,000万円	10年	保証会社
カードローン	事業資金以外の健全な消費資金	300万円	3年(自動更新)	保証会社
スーパーカードローン	事業資金以外の健全な消費資金	70万円	3年(自動更新)	保証会社
カードローンアラカルト	事業資金以外の健全な消費資金	500万円	1年(自動更新)	保証会社
多目的ローン	商品・サービス代金の支払い	300万円	7年	保証会社
目的ローン	事業資金、旧償返済資金以外で資金使途が明確な資金	500万円	10年	保証会社
フリーローン	事業資金、旧償返済資金以外の消費資金	500万円	10年	保証会社
教育ローン	教育資金全般	200万円	10年	家族保証
教育ローン極度型チャンス	教育資金全般	500万円	3年(自動更新)	保証会社
シルバーライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	100万円	5年	保証会社
シニアライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	200万円	5年	保証会社
CSフリーローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	300万円	7年	保証会社
ぼうしんパートナーズ	運転資金、設備資金等の事業資金	500万円	5年	保証会社
バリアフリーローン	介護のための増改築、介護機器福祉車両等購入資金・施設入居費用	500万円	10年	保証会社
司法書士研修費用専用ローン	新人研修特別研修の授業料、教材費等の資金	100万円	5年	保証会社
職域サポートフリーローン	事業資金、旧償返済資金以外の消費資金(当組合と職域優遇協定締結の提携企業の従業員向け)	500万円	10年	保証会社
職域サポート目的ローン	事業資金、旧償返済資金以外で資金使途が明確な資金(当組合と職域優遇協定締結の提携企業の従業員向け)	500万円	10年	保証会社

## 4.取引先への支援状況等

当組合は、地域経済の活性化・振興への貢献活動として、創業・新事業支援や要注意先等に対する経営改善指導、事業再生支援などに取り組んでおります。

### (1) 創業・新事業支援

新規・独立開業や、取引先企業の新分野進出に対する資金ニーズについては、当組合のプロパー融資や政府系金融機関の代理貸付、地方自治体制度融資などの利用により対応しております。

現在、創業・新事業支援機能を更に強化するため、企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成、政府系金融機関との連携や(財)千葉県産業振興財団の活用などに取り組んでおります。

### (2) 要注意先等のランクアップへの取組み

要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止を図るため、本部・営業店が一体となり、経営改善の可能性のある取引先を選定し、経営改善指導等の支援を行っております。

### (3) 事業再生支援

取引先企業の早期事業再生を図るため、経営改善計画の策定を求めたり、貸出条件の緩和などの金融支援を行い、過剰債務の解消・再生に向けて取引先企業と協調して取り組んでおります。

現在、経営相談・支援機能の強化や、事業再生支援に関する人材の育成、千葉県中小企業再生支援協議会や(社)中小企業診断士協会千葉県支部との連携など、企業の再生に向けた取組みを積極的に進めております。

## 5.地域へのサービスの充実

当組合では、地域の皆様への感謝を込めた企画や、ご利用者の利便性向上に努めております。

特に、ご高齢のお客様には色々な特典付商品をご用意しております。

- ・懸賞金付普通預金(年金口座)「心づくし」
- ・懸賞金付定期預金「福運」
- ・優遇金利定期預金「100歳100歳」

### ・年金来店プレゼント

組合員様限定商品をご用意しております。

- ・ご優待定期預金 ぼうしんメンバーズ・プレミアム (期間限定) 子育てファミリーを応援します。
  - ・子育て応援定期積金「すくすく積み太くん」
- 営業地区内店舗数…14店舗、ATM設置台数20台

## 6.文化的・社会的貢献活動

当組合は、金融業務を通じた地域貢献だけでなく、色々な分野で地域のお役にたちたいと考え、たとえば次のような活動を行っております。

- ・ごみゼロ運動……全職員が各店別に毎月1回の早朝路上清掃活動を行っております。
- ・しんくみの集い……9月2日(日)に「しんくみの日」を記念して、茂原市民会館にて林家三平師匠による講演会を企画実施し、627名のご来場をいただきました。同時に「献血運動」を実施し、役職員36名のほか一般の方からも献血に協力をいただきました。次年度も継続していきます。
- ・地域行事……茂原七夕まつり、一宮かずさ祭りへの参加や各地区で開催される商工祭やイベントを積極的にお手伝いしております。今年は、台風12号の接近により「もばら阿波踊り(七夕祭り)」は、中止となりましたが、業務終了後や土曜日を活用した事前練習では、職員間のコミュニケーションを図ることが出来ました。
- ・ゲートボール大会……地域のゲートボール愛好会の方々のご参加を頂き、当組合の主催による大会を開催しております。



講演会



献血運動

◆相談・苦情窓口

相談・苦情受付ホットライン



フリーアクセス

0120-940-339

までお願いします。